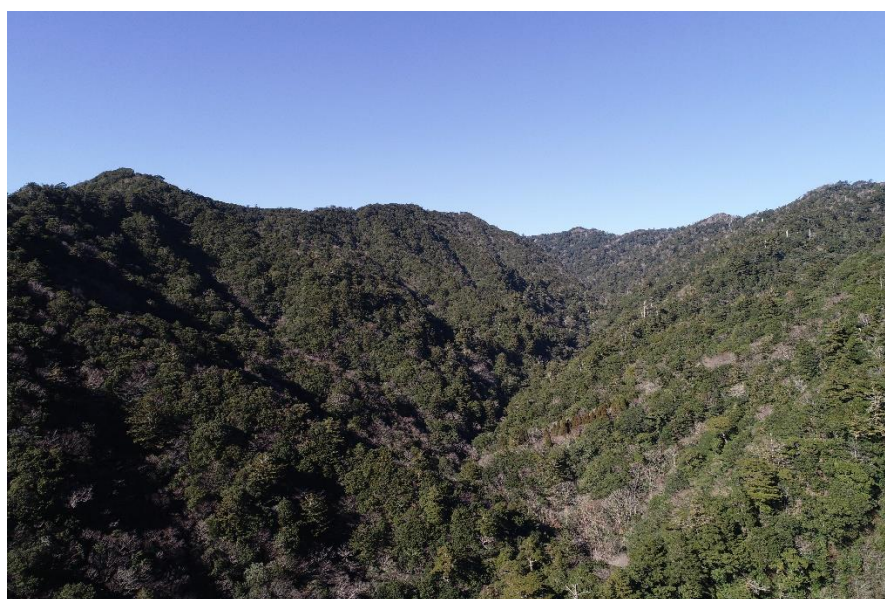


2023 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）

令和5年度 事業報告書



南方より空撮にて掃部岳を望む（令和5年12月）

綾の照葉樹林プロジェクト連携会議

九州森林管理局・宮崎県・綾町

（公財）日本自然保護協会・（一社）てるはの森の会

2023年度 綾の照葉樹林プロジェクト 活動報告概要版

4月18日・27日

どんぐり蒔き付け



照葉樹林の復元

どんぐりの蒔き付けを行いました!(国&町)

照葉樹林復元を目的とした、間伐予定箇所(2044と、と1林小班)へどんぐり苗木の植栽を行うため、昨年度採取したどんぐりを綾小・中学校の生徒さんによりプランターへ蒔き付けしました。今後は学校敷地内において育苗し、2~3年後に間伐実施後に植栽する予定です。

11月26日

シカネット張り



復元ボランティア作業でシカネットを設置しました!(国&全)

綾プロエリア内におけるニホンジカによる森林への被害は以前から問題となっております。シカ被害を防止し植生を保護するため、2045よ林小班において緋熊と黒潮スタディーツアー及び森の観察会募集者からボランティア39名が参加し、シカネットを設置しました。

11月~3月

獣害防除作業



県有林造成事業(獣害防除)を行いました!(県)

25世紀の森に植栽されたカヤをシカやウサギの食害から守るため、獣類が嫌がる匂いの薬剤(忌避剤)をカヤの幹に塗り獣害予防を行いました。山の食べ物が不足する冬場(11月~3月)に実施し、散布は年2回で、1回目と2回目の散布期間を1ヶ月以上空けています。

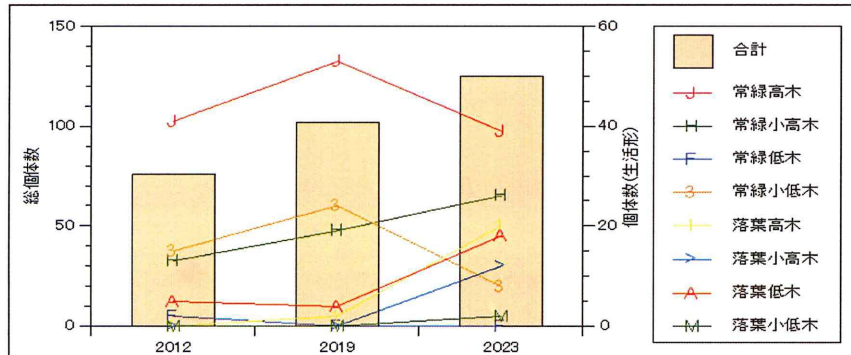
調査・研究

11月25日

ボランティア林床調査

ボランティア林床植生調査を実施しました!(N J & T)

間伐後の防鹿柵内の林床植生の11年間の変化を調べました。常緑高木種の個体数は増加後に減少しました。実は、前生稚樹であるバリバリノキの樹高成長が著しく、林内を占有していました。増加した常緑小高木や落葉高木は保残木を伐採しない限り、新規の侵入は困難であると考えられました。



4月~3月

九州自然歩道魅力ステップアップ事業



九州自然歩道魅力ステップアップ事業で補助を行いました(県&町)

九州自然歩道は本県を縦断する長距離歩道であり、綾町にも23.2kmの九州自然歩道が通っています。自然の大切さや森林の持つ公益的機能を感じることが出来るフィールドとして利用されるよう、民間団体への歩道を活用したイベントや整備活動等に対する補助を行いました。綾町からは1団体の申請があり、川中神社参道の整備を行いました。

9月~2月

ガイド事業

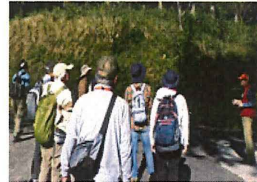


照葉樹林ガイドを行っています!(T & 町)

1昨年の台風で照葉大吊遊歩道は通行止めになり、秋頃までは、吊り橋遊歩道の滝までしか通行できませんでした。照葉樹林ガイドは6回35名を案内するだけでした。案内していても、雨で洗われ凹凸のある道の険しさに、途中引き返すこともありました。昨年開催したガイド養成者のスキルアップ講座を3回行い29名の参加がありました。通常ガイドの時も参加するよう案内をし、今後も実践活動を重ね、ガイドとしてスキルの向上を目指します。

10月21日・1月20日

地域づくりワーキンググループ



森と共生した地域づくり

「おとなの山学校」ツアーを行いました!(T & 町)

里山散策体験を行う「おとなの山学校」では、定期ツアーを、10月21日(土)、1月20日(土)に実施しました。定期ツアーでは14名、スタディーツアーでは12名の参加がありました。雨天プログラムや食事時間に映像での説明をするなど工夫し、1月20日の雨天時開催では、動物界の見学後、上畑地区の散策に変更しました。QRコードからの申し込みフォームも運用しています。

綾ユネスコエコパーク関連の活動を報告します!(町)

綾プロエリアが綾ユネスコエコパークの核心地域および緩衝地域にあたることから、綾町ではユネスコエコパーク関連事業と連携して綾プロ事業を進めています。

豊かな自然を活かし、地元小中学校の環境学習をはじめ、県内様々な学校の校外学習や県内外からの視察を受け入れ、ユネスコエコパークに登録された日本最大級の照葉樹自然林の森や綾プロの取り組みについて紹介することで自然の貴重さや大切さを伝えています。

活動実績は240件、うち綾プロ関連は47件でした。

- ・視察・外部対応 66件
- ・主催イベント・講座等の開催 49件 (8件)
- ・他者主催イベント等への参加 3件
- ・取材対応 3件
- ・調査・作業 18件 (12件)
- ・会議・打ち合わせ等 101件 (27件)

4月~3月

綾ユネスコエコパーク活動



※国は九州森林管理局・宮崎森林管理署、県は宮崎県、町は綾町、N Jは日本自然保護協会、Tはてるはの森の会
全は連携会議各機関

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）
令和5年度 事業報告書

目 次

I	実施項目別スケジュールと令和5年度実施事業一覧	1-2
II	令和5年度 事業報告（※実施項目順に、実施した事業名・報告書記載者名を掲載）	
1	項目：綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	
2	項目：照葉樹林の保護・復元 － 照葉樹林の保護と復元等を推進するための計画的・順応的管理を実施	
2-1-①	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（九州森林管理局）	3
2-2-①	プロジェクト事務局運営事業（九州森林管理局）	4
2-2-②	電波通信環境改善事業（綾町）	5
2-3-①	復元手法の再検討（九州森林管理局）	6
2-3-②	照葉樹林復元のためのシカ被害対策（九州森林管理局）	7
2-4-①	人工林から照葉樹林への復元作業（九州森林管理局）	8
2-4-①	人工林から照葉樹林への復元作業（宮崎県）	9
2-4-③	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業（九州森林管理局）	10
2-5-②	照葉樹林復元の動態モニタリング調査（九州森林管理局）	11
2-6-①	照葉樹林復元ボランティア作業の実施（九州森林管理局）	12
3	項目：照葉樹林の調査研究 － 照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し反映する	
3-4-①	市民参加型の調査研究の実施（日本自然保護協会）	13
4	項目：照葉樹林を通じた環境教育 － 環境教育を推進する	
4-1-②	照葉樹林に親しむイベントの開催（てるはの森の会）	14
4-2-②	路網整備（宮崎県）	9
4-2-②	九州自然歩道魅力ステップアップ事業（宮崎県）	15
4-2-②	遊歩道整備ボランティア（てるはの森の会）	16
4-3-①	環境学習事業照葉樹林ガイドボランティア事業補助（てるはの森の会）	17
5	項目：プロジェクトの情報発信 － 情報発信及び支援の輪の拡大活動	
5-1-①	会員情報（てるはの森の会）	18

5-1-③④	普及啓発事業（てるはの森の会）	19
5-1-④	ホームページ等による情報発信（九州森林管理局）	20
5-1-⑤	綾プロ20周年事業の計画（綾町）	21
5-1-⑥	事業説明会の実施（九州森林管理局）	22

6 項目：照葉樹林と共生した地域づくり － 自然と共生した地域づくりへの貢献を推進する

6-1-①	地域づくりワーキング事業補助（綾町）	23
6-1-②	照葉大吊橋 森の驛運営事業（てるはの森の会）	24
6-2-①	綾町森林づくりビジョン策定（綾町）	25
6-3-①	ユネスコエコパークとの連携（連携：綾町・九州森林管理局）	26
6-3-①	綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然と共生する地域づくり支援事業」（九州森林管理局）	27
6-3-①	ユネスコエコパークとの連携（綾町）	28
6-3-①	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援（日本自然保護協会）	29

7 項目：生物多様性の保全管理 － 生物多様性の保全管理を推進する

7-1-①	生物多様性保全に配慮した森林整備（九州森林管理局）	30
7-1-①	県営林造成事業（宮崎県）	9
7-2-②	綾生物多様性地域戦略 実践支援事業（綾町）	31

III	令和5年度 綾の照葉樹林プロジェクト社会的活動まとめ	32
-----	----------------------------	----

IV	令和5年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧	33
----	--------------------------	----

V	令和5年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連新聞記事	34
---	--------------------------	----

実施項目別スケジュール（令和5年度～9年度）と令和5年度実施事業一覧
重点目標：①復元手法の検討 ②環境教育 実施計画の検討

実施項目別スケジュール					令和5年度事業報告				
項目	課題	行動内容	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁	
1	協働の体制づくり	綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	中長期目標と目標設定の見直し	目標を再確認し必要に応じて見直しを検討する	全	国		全	
2	照葉樹林の保護・復元	照葉樹林の保護と復元等を推進するための計画的・順応的管理を実施	1 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（以下、計画書という）の見直し	必要に応じて内容の見直しを検討した上で計画書を策定	全	国	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（継続）	全	3
			2 計画書に基づき適切な保全管理を行う	① 連携者間における進捗状況等の共有	全	国	プロジェクト事務局運営事業	全	4
				② 管理施設（案内板・標識等）の整備	全	町	電波通信環境改善事業	全	5
			3 シカ被害対策を含む効果的・効率的な復元手法を確立する	① 復元手法を再検討する	全	国	復元手法の検討（継続）	全	6
				② 川中神社周辺におけるスギ人工林の照葉樹林復元に向けた効果的なシカ対策と新たな手法による間伐及び種子採取・播種等の試行と実行への移行	全	国	照葉樹林復元のためのシカ被害対策（継続）	全	7
			4 計画的な施行を実施する	① 計画的な間伐の実施（国有林・県有林・町有林）	国・県・町	国・県	人工林から照葉樹林への復元作業		8 9
				② 復元見本林の整備	全				
			5 復元効果を評価する調査研究を推進する	① 間伐後の復元状況を評価調査実施（国有林、県有林、町有林）	国・県・町・NJ				
② データの収集、解析、復元方法へのフィードバック方法の確立	国・県・町・NJ	国		照葉樹林復元の動態モニタリング等		11			
6 市民のプロジェクトへの参加を推進する	市民参加型の復元作業の実施	国・町・T	国	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	T	12			
3	照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し反映する	照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し反映する	1 既往の調査・研究成果に基づき計画的に調査を実施する	調査・研究成果に基づき毎年度計画的な調査（モニタリング）の実施	国・県・町				
			2 モニタリング調査の実施	保護林・緑の回廊に関する調査	国				
			3 調査・研究成果の共有化及びデータベースを構築する	① GISを活用した林小班ごとの復元に必要な情報の整備	国・NJ				
				② 調査・研究成果の共有化・データベース化	国・NJ				
4 市民のプロジェクトへの参加を推進する	市民参加型の調査研究の実施	町・NJ・T	NJ	市民参加による自然林の復元調査（継続）及び自然林の調査（継続）	国・町・T	13			

実施項目別スケジュール（令和5年度～9年度）と令和5年度実施事業一覧
重点目標：①復元手法の検討 ②環境教育 実施計画の検討

実施項目別スケジュール					令和5年度事業報告						
項目	課題	行動内容	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁			
4	照葉樹林を通じた環境教育	環境教育を推進する	1 エリアの見直しと既存資源の活用・教育プログラムの検討	① 環境教育エリアの見直しと既存資源の掘り起こしの検討と有効活用	全						
				② 環境教育プログラムを検討し、試行的に実施	全	T	照葉樹林に親しむイベントの開催	全	14		
			2 大吊橋周辺、川中自然公園、大口遊歩道等の活用方法を検討する	① 環境教育に関する活用方法の検討	T						
				② 必要なルート整備を実施	県・町・T	県	路網整備		9		
					県	九州自然歩道魅力カステップアップ事業		15			
					T	遊歩道整備ボランティア作業	県	16			
			3 ガイドボランティアを養成し、市民の理解を深める	③ 崩壊した九州自然歩道について新たなルートや歩道復旧を検討する	県						
				① ガイドボランティア事業の実施・養成	T	T	環境学習事業照葉樹林ガイドボランティア事業補助	町	17		
					T						
			町・T	② ガイドを通して市民に綾プロを理解してもらうためのプログラム作り	T						
③ 森林セラピーとの連携体制の検討	町・T										
5	プロジェクトの情報発信	情報発信及び支援の輪の拡大	1 市民や企業など広く一般にプロジェクトの内容を知ってもらい、参画や会員の拡大を図る	① サポーターの募集を行い、会員を増やす	全	T	会員情報	全	18		
				② パンフレット、リーフレットの作成及び配布	全						
				③ ニュースレター、報告書の作成及び配布	全	T	普及啓発事業	全	19		
					国	ホームページ等による情報発信	—	20			
				④ HPの作成及び更新	全	T	普及啓発事業	全	19		
				⑤ フォーラムの実施	T	町	綾プロ20周年事業の計画（新規）	全	21		
				⑥ 事業説明会の実施	全	国	事業説明会の開催（継続）	全	22		
6	照葉樹林と共生した地域づくり	自然と共生した地域づくりへの貢献を推進する	1 市民との協働で実施する運営体制を構築し、市民が積極的に綾プロに参画できるようにする	① 地域づくりワーキングの設置及び運営	町・T	T	地域づくりワーキング事業補助	町	23		
				② てるはの森の驛の活用方法を検討し、それに応じて必要な整備	町・T	T	照葉大吊橋 森の驛運営事業	町	24		
			2 綾町の他の事業との連携のあり方を検討し、実行計画を策定する	町	町	綾町森林づくりビジョン策定	国・県	25			
				国・町	ユネスコエコパークとの連携	全	26				
			3 綾プロと綾ユネスコエコパークの連携を推進する	国・県・町	綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然と共生する地域づくり支援事業」		27				
				町	ユネスコエコパークとの連携		28				
				NJ	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援	町	29				
7	生物多様性の保全管理	生物多様性の保全管理を推進する	1 生物多様性保全の配慮	生物多様性保全に配慮した施業の実施	国・県	国	生物多様性保全に配慮した森林整備		30		
				県	県営林造成事業		9				
			2 生物多様性地域戦略を推進する	① 綾町の里山周辺の植生調査	町・NJ						
② 生物多様性地域戦略の実施	全	町		綾生物多様性地域戦略 実践支援事業	NJ	31					

事業名	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（継続）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	本計画の期間（令和5年4月1日から令和10年3月31日）は、綾の照葉樹林プロジェクト推進協定の期間と合わせて、おおむね5年を目途に必要な見直しを行う。		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議等を通じ連携者間において協議・検討を重ねた。 			

事業名	プロジェクト事務局運営事業(継続)	実施主体	九州森林管理局 綾町																		
項目-行動計画- 実施項目	2-2-①	連携先	連携会議各機関																		
事業概要 (目的)	各種会議等における、連携者間との連絡調整・問合せ対応、事業の企画などを行う。																				
<p>【連携会議】 第38回 令和5年8月2日 主な協議内容 (1) 令和4年度事業報告書 (2) 令和5年度事業計画(案)</p> <p>第39回 令和6年2月20日 主な協議内容 (1) 令和4年度 綾プロ取り組み状況報告(案) (2) 令和5年度事業計画(案)</p> <p>【連絡調整会議】 第1回 令和5年5月19日 主な協議内容 (1) 県道26号 宮崎須木線の工事について (2) 第3次連携会議協定書の更新について (3) 第38回連携会議について (4) 春のロングウォークについて</p> <p>第2回 令和5年8月2日 主な協議内容 (1) 第38回連携会議について (2) 綾プロ20周年記念について</p> <p>第3回 令和5年9月26日 主な協議内容 (1) 復元ボランティア作業について(局・てるはの森の会・綾町) (2) 綾プロ20周年記念について</p> <p>第4回 令和5年11月24日 主な協議内容 (1) 第28・29回復元ボランティア作業について (2) 今後のどんぐりの育苗について (3) 綾町公民館大会での綾プロ活動報告について</p> <p>第5回 令和6年1月23日 主な協議内容 (1) 綾町公民館大会での綾プロ活動報告について (2) 第29回復元ボランティア作業について (3) 第39回連携会議について (4) ネイチャーポジティブ宣言について</p> <p>第6回 令和6年2月20日 主な協議内容：(1) 第39回連携会議について</p>																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">連携会議 各機関担当者の数 *連携会議名簿による</th> </tr> <tr> <td>九州森林管理局</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>宮崎森林管理署</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>宮崎県</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>綾町</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日本自然保護協会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>てるはの森の会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学識経験者</td> <td>1</td> </tr> </table>		連携会議 各機関担当者の数 *連携会議名簿による		九州森林管理局	5	宮崎森林管理署	1	宮崎県	3	綾町	3	日本自然保護協会	3	てるはの森の会	3	学識経験者	1		
連携会議 各機関担当者の数 *連携会議名簿による																					
九州森林管理局	5																				
宮崎森林管理署	1																				
宮崎県	3																				
綾町	3																				
日本自然保護協会	3																				
てるはの森の会	3																				
学識経験者	1																				
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">連絡調整会議 各機関担当者の数</th> </tr> <tr> <td>九州森林管理局</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>宮崎森林管理署</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>綾森林事務所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>宮崎県</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>綾町</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日本自然保護協会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>てるはの森の会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学識経験者</td> <td>1</td> </tr> </table>		連絡調整会議 各機関担当者の数		九州森林管理局	3	宮崎森林管理署	2	綾森林事務所	2	宮崎県	3	綾町	4	日本自然保護協会	2	てるはの森の会	3	学識経験者	1
連絡調整会議 各機関担当者の数																					
九州森林管理局	3																				
宮崎森林管理署	2																				
綾森林事務所	2																				
宮崎県	3																				
綾町	4																				
日本自然保護協会	2																				
てるはの森の会	3																				
学識経験者	1																				

事業名	電波通信環境改善事業(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-2-②	連携先	各機関
事業概要 (目的)	千尋自然公園地域の公共通信環境改善に関する事業を実施。		
<p>千尋（せんびろ）自然公園地域の通信環境は一部を除き、現在圏外となっているが綾の照葉大吊橋や川中自然公園が含まれ、観光や環境教育等で人の利用が多いため、安全面や緊急時を考慮し電波通信環境の改善について担当部署と協議検討を進めている。</p>			

事業名	復元手法の検討(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-3-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	シカ被害対策、種子の採取・播種、植栽苗の育苗及びこれらのスケジュール等について引続き検討を行う。また、試行的な取組として進めている植栽苗の育苗について、綾小・中学校と協力しながら進める。		

植栽苗の育苗について、綾小・中学校と協力しながら以下のとおり実施した。
日々の水やりや成長記録も生徒が行っている。

綾小学校での蒔き付けの様子（4月18日）



綾中学校での蒔き付けの様子（4月27日）




綾小学校での苗移植の様子（9月4日）



綾中学校での苗移植の様子（9月15日）



事業名	照葉樹林復元のためのシカ被害対策(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-3-②	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	川中神社周辺及び隣接する保護エリアの国有林(人工林)を主なエリアとして、地元猟友会の協力を得ながら集中的にシカの捕獲圧を高める。また、シカの生息状況把握調査を踏まえて、シカの効果的な捕獲方法を検討し、天然力による照葉樹林の復元を図る取組を進める。		
<ul style="list-style-type: none"> ・綾町有害鳥獣対策協議会と、協定の実施状況の確認、委託捕獲事業の計画に際しての捕獲エリアの調整、植生復元エリア内での植生保護柵の見回りについて打ち合わせを実施した。 ・シカ被害対策に係る生息状況把握調査については、計15基の自動撮影カメラを設置。4者で当番を決め3ヵ月に1度点検・データの回収を実施した。 回収したデータについては、今後解析し、シカ捕獲への活用を図ることとしている。 			

事業名	人工林から照葉樹林への復元作業	実施主体	九州森林管理局 宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	2-4-①	連携先	—
事業概要 (目的)	復元エリア、保護エリア、環境教育エリアの国有林において、人工林を照葉樹林に復元するための間伐を実行。		
<p>・令和6年度に復元モデル地区（2044と、と1林小班）において間伐事業を計画しており、現地検討会を実施した結果、シカの不嗜好性植物（シロダモやバリバリノキ等）が繁茂している状況から、植生復元へ向けた試行的な取り組みについて検討することとした。</p> <p>・WGを開催し、森林総研九州支所からの助言を踏まえながら、連携者間で協議検討を重ねた結果、以下について令和6年度の間伐時に取り組むこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①区域内の広葉樹母樹にマーキングし間伐実施時に極力保残させること ②間伐後、シカネットを区域の一部に設置 ③間伐前後及びシカネット内外における植生モニタリング調査の実施 ④苗木植栽に向けた検討 <p>・間伐箇所現地検討会の様子（令和5年5月23日）</p> 			

事業名	県有林造成事業(継続)	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	2-4-① 4-2-② 7-1-①	連携先	森林経営課 森林管理推進室
事業概要 (目的)	持続的な林業経営を行うエリア等において、スギ人工林の間伐を実施する。 また、森林環境教育・保健休養的利用を図ると共に、人工林の針・広混交林化を進めるエリアにおいて、獣害防除を実施する。		

※短期行動計画の内容に重複する部分があることから、2項目の事業報告を行う。

1 間伐(列状間伐) 2-4-①、4-2-②
実績無し。

2 獣害防除(忌避剤散布) 7-1-①

(1) 場 所 25世紀の森(カヤとスギの複層林)

(2) 面 積 3.23ha

(3) 時 期 11月～3月



獣害防除(忌避剤散布)



カヤ植生状況

【参考】

○対 象 獣：シカ

○薬 剤 名：コニファー水和剤

(生態系に配慮した安全な薬剤、獣類が嫌がる匂いを発する)

○散布方法：1haあたり原液12.5リットルの薬剤を、地際から1.5m高まで散布

○散布回数：年2回

(餌が不足する11月～3月が適期、2回目の間隔は1か月以上空ける)

事業名	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-4-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾プロエリア内にある大森岳林道、綾南林道沿い等において、委託事業によるニホンジカの誘引捕獲を実施。		
<p>○令和5年度委託事業による捕獲実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業種 : 餌を用いたくくりワナによる捕獲 ・ 捕獲頭数 : 計20頭 (成獣19頭: オス4頭 メス15頭) (幼獣 1頭: オス0頭 メス 1頭) ・ 期 間 : 令和5年10月6日から令和6年1月31日 (完了日: 12月5日) 			

事業名	照葉樹林復元の動態モニタリング等	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画 -実施項目	2-5-②	連携先	—
事業概要 (目的)	令和2年度実施した既往のモニタリング調査結果の再整理、分析を基に該当する各プロットにおける照葉樹林への復元に関するモニタリング調査を実施（委託業務）。		
<ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響により調査地へのアクセスが困難な状態であるため未実施。 			

事業名	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-6-①	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	環境教育エリア等において、公募等によりボランティアを募集し、照葉樹林復元に係るシカネット設置作業等を2回実施。		
<p>・1回目は、令和5年11月26日に2045よ林小班において、樋熊と黒潮スタディーツアー及び森の観察会募集者からボランティア39名が参加し、シカネット設置を実施。</p>  <p>・2回目は、令和6年2月14日に綾森林事務所において、大和ハウス工業のボランティア12名が参加し、苗のコンテナ移植作業を実施。</p> 			

事業名	市民参加による自然林の復元調査(継続)及び自然林の調査(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画-実施項目	3-4-①	連携先	綾町 てるはの森の会 九州森林管理局
事業概要(目的)	11月、2月にボランティア間伐事業に合わせて林床植生調査を実施。温湿度データロガー設置及び回収(1月)。その他必要となる調査等。綾町における環境教育の取り組み状況の把握(通年)。綾町生物多様性地域戦略の見直し。		

国有林に設定された鹿柵内のプロット(NAK1202_13)は、2012年、2019年、2023年に調査を実施した。今回は、前回の調査から約5年後となる調査で、過去の調査結果と比較し復元状況を把握することを目的とした。

実生・稚樹

胸高1.3m未満の実生・稚樹の種別の個体数を図1に示す。実生・稚樹の総個体数は2012年が202本、2015年が256本、2023年が180本になり総個体数は増加した。

常緑高木は、41、53、39本、常緑小低木は、15、24、8本となり2012年と比較して2019年に最も高くなり、2023年に減少した。常緑高木はバリバリノキ、シロダモ、ヒメユズリハなどが多かった。常緑小低木は、ヤブコウジ、ツルコウジ、マンリョウなどであった。増加傾向を示したのは、常緑小高木(ヒサカキ、サザンカ、クロキ)、落葉高木(ムクノキ、アカメガシワ、ヤマグルワ)、落葉低木(マルバウツギ)、落葉小高木(イヌビワ、エゴノキ、ハマクサギ)であった。

目標としている常緑広葉樹に関しては、個体数の増加は顕著でなく、前生稚樹であるバリバリノキの成長が著しく優占し、イチイガシ、ヤブツバキ、サザンカ、ミミズバイ、ヒメユズリハが続いた。すでにこれらの種群により林内はうっ閉しているため、増加した常緑広葉樹や落葉広葉樹は保残木を伐採しない限り、新規の侵入は困難であると考えられる。

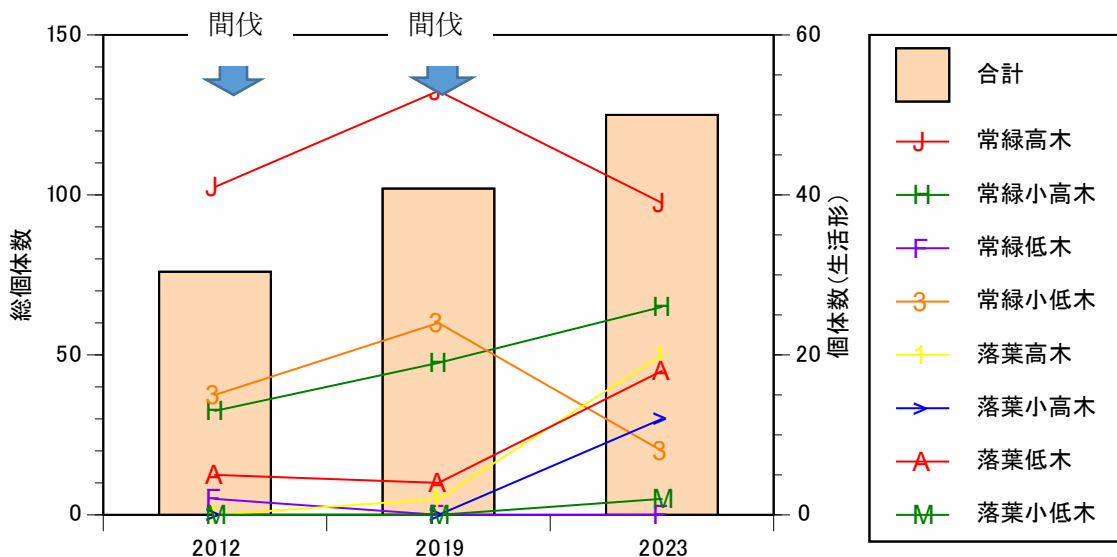


図1 2012年、2019年、2023年のシカ柵内のプロットにおける木本種の個体数変化

事業名	照葉樹林に親しむイベントの開催 (継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	5-1-③	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	葉樹林に親しむ散策や体験等を企画し、綾プロへの理解を深める		
<p>○大森岳散策を綾町役場職員対象に1月実施で計画するも、実施できず。</p>			

事業名	九州自然歩道魅力ステップアップ事業	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	4-2-②	連携先	自然環境課
事業概要 (目的)	自然の持つ大切さや森林の持つ公益的機能を学ぶ魅力ある場として九州自然歩道を活用するため、地域住民等による自然体験プログラムの促進や利用環境の整備を行う。		

1 歩道利用活動支援事業

綾町自然体験・環境学習グループをはじめ、県内6団体の九州自然歩道を活用した自然体験プログラム開発や利用環境の整備等の実施を支援。

綾町では地元と協力した、九州自然歩道等の整備を実施。



綾町自然体験・環境学習グループによる歩道整備

事業名	遊歩道整備ボランティア作業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目－行動計画－ 実施事項	4-2-②	連携先	宮崎県
事業概要 (目的)	照葉樹林トレッキングコースとして、歩道の整備や看板の整備等をボランティアと で行い、新たな散策ルートとして活用する。		

県有林遊歩道整備作業を3月17日(日)に計画したが、雨天中止になり、4月21日(日)に実施予定である。下見、事業打合せ等をし、チラシ作成、保険加入等を行い、整備事業を準備した。3月17日(日)は6名、4月21日(日)は7名の参加予定である。4月21日も雨天のため中止となった。



事業名	環境学習事業 照葉樹林ガイドボランティア事業補助 (継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	4-3-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	大吊橋周辺遊歩道などで照葉樹林の貴重さや綾プロを普及させるため、照葉樹林ガイドボランティア実践活動やガイド養成を行う。		

① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動

一昨年の台風で吊り橋遊歩道は通行止めになり、秋頃までは、滝までしか通行できなかった。照葉樹林ガイドは6回35名を案内するだけだった。案内していても、道の険しさに参加者の要望で途中引き返すこともあった。

○照葉樹林ボランティアガイド

NO	日程	曜日	来訪者名	主催者名	主催者所在地	ガイド数	参加者数
1	5月15日	月	個人		沖縄	2	2
2	7月22日	土	学生下見		福岡、筑波	3	2
3	8月24日	木	個人		東京	2	2
4	10月25日	水	個人		鹿児島	2	6
5	11月25日	土	スタディーツアー	緋熊と黒潮	東京	2	12
6	2月11日	日	霧島ジオパークガイド	綾ユネスコエコパークセンター	宮崎、鹿児島	1	11

○照葉樹林ガイド養成講座

昨年開催したガイド養成講座のスキルアップ講座を3回行い29名の参加があった。通常ガイドの時も参加の案内をし、スキルアップに努めた。今後も実践活動を重ね、ガイドとしてますますのスキル向上を目指したい。

NO	日程	曜日	ガイドスキルアップ研修	講師	開催場所	参加者数
1	9月10日	日	吊り橋遊歩道ガイド	駒田勤	吊り橋滝まで	9
2	10月1日	日	吊り橋遊歩道ガイド	駒田勤	吊り橋遊歩道全	6
3	1月14日	日	救急法	西部消防署	エコパークセンター	14

事業名	会員情報(継続)	実施主体	てるはの森の会						
項目-行動計画- 実施項目	5-1-①	連携先	全						
事業概要 (目的)	官民協働プロジェクトを推進するため、市民参加の窓口としててるはの森の会会員へ入会を募集するほか、賛同者の寄付による参加を募集する。								
<p>○正会員数 : R6.4.1現在 7名 (内、理事4名)</p> <p>○賛助会員数 : R6.4.1現在 個人サポート会員 70件 (-5) 法人サポート会員 14件 (±0) 団体サポート会員 7件 (±0)</p> <p>○会費収入 : 346,000円</p> <p>○寄付金収入 : 147,036円</p> <table border="1" data-bbox="280 1137 821 1328"> <tr> <td>イベント等募金・ その他寄付</td> <td>139,000</td> </tr> <tr> <td>てるは大吊橋募金箱</td> <td>8,036</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>147,036</td> </tr> </table>				イベント等募金・ その他寄付	139,000	てるは大吊橋募金箱	8,036	計	147,036
イベント等募金・ その他寄付	139,000								
てるは大吊橋募金箱	8,036								
計	147,036								

事業名	普及啓発事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画-実施項目	5-1-③、④	連携先	全
事業概要 (目的)	ホームページの更新やニュースレターの発行、イベントでの展示ブース出展等の広報活動を行なう。ホームページ上にて報告書を掲載。		

○広報誌

- ・「照葉樹林だより」65号 8月10日 500部発行
- ・「照葉樹林だより」66号 1月10日 500部発行
- ・「照葉樹林だより」67号 3月10日 500部発行

広報誌「照葉樹林だより」を3号編集、発行し、会員、関係機関、今まで関わった研究者等に送付した。国立国会図書館にも送付している。

○てるはの森の会のホームページ <http://teruhanomori.jp/>



○てるはの森の会 facebook での情報発信

○視察対応 1件

○綾プロ報告書の公開

当会 HP <http://teruhanomori.jp/>

九州森林管理局 HP [jigyuhoukokusyo-14.pdf\(maff.go.jp\)](http://jigyuhoukokusyo-14.pdf(maff.go.jp))

綾ユネスコエコパークセンターHP <https://ayabrcenter.jp/unescoecopark/project/>

事業名	ホームページ等による情報発信	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-④	連携先	—
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトでの取組について、令和6年3月に最新情報に更新。		

リンク先：<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/index.html>



綾の照葉樹林

綾の照葉樹林プロジェクトとは

照葉樹林への復元

これまでの取組

事業報告書

事業名	綾プロ20周年事業の計画	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	5-1-⑤	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	20周年事業を実施し、広く一般にプロジェクトの内容の周知を図る。		
<p>「綾の照葉樹林プロジェクト」(2005(平成17)年5月発足)が2025(令和7)年に20周年を迎えるにあたり、20周年事業を実施する。 その具体的な実施事業についての計画を連絡調整会議等にて連携者間で協議を行った。</p> <p>2015年の10周年事業では、①記念イベント「新緑の綾の森へ行こう」、②記念誌「綾の照葉樹林プロジェクト10年の歩み」の作成、③記念フォーラム「綾の森が歩んだ10年、これからの10年」が実施された。</p> <p>協議の上、20周年では10周年同様に記念誌を作成することが確定し、そのほかの事業については、連携者より事業案を提示してもらい取りまとめを行った。 第39回連携会議(令和6年2月)では、記念誌の作成とほか事業について調整中との状況を報告した。 令和6年度は事務局となる九州森林管理局にてとりまとめを進める予定である。</p> <p>《 綾プロ20周年記念事業 実施事業案(第39回連携会議 R6.2.20時点) 》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 20周年記念誌作成 2. 森のコンサート 3. 森の散策コンサートと一緒に(5月中) 4. ポスター展示 5. 写真展示 6. 俳句展示 7. 風景画展示 8. SNS (Instagram、Tiktokなど) 9. 綾町の企業、農家等とのコラボ 10. 横断幕設置綾プロ20周年の横断幕を設置(候補:役場、ほんものセンター) (期間中) 11. 吊橋のポストカードにロゴ 12. 綾中学校生徒によるドングリの取組報告 13. 綾の照葉樹林散策 14. 綾プロ報告会 15. 赤谷プロジェクトとの交流 			

事業名	事業説明会の開催（継続）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-⑥	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾町民等を対象に綾プロの普及啓発と合わせて、町民参加によるシカ被害対策とドングリの採取・育苗の取組の報告を行う。		
<p>・令和6年2月11日に開催された公民館大会において、事業説明会を実施した。</p>			

事業名	地域づくりワーキングの設置と運営 事業補助(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	6-1-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域づくりWGは、綾プロジェクトの推進体制や当プロジェクトを活用した地域振興等に関する事項を検討し、住民参加を促すことを目的とする。		

検討会5回、ツアー2回、スタディーツアー1回の計8回を開催した。

里山散策体験ができる「おとなの山学校」では、今年度は定期ツアーを、10月21日(土)、1月20日(土)に開催した。ワーキングでは準備、反省点の洗い出し等を行い、運営の細かいやり方を決め、1月20日(土)にはほぼ計画とおりに実施できた。

魅力あるプログラムとするため、雨天プログラムや食事時間のスライドや説明等も実施した。雨天は、動物罫の見学後、上畑地区散策をした。夏はシシ冷や汁、冬はシシ汁とメニューの充実も図った。QRコードからの申し込みフォームも準備した。

○ワーキング委員会実施スケジュール

	日 程	委 員 会 の 内 容	参加人数
1	R5年6月8日(木) 19:00~21:00	・昨年度の反省 ・今年度の計画 ツアー日時決定	9名 町職員2
2	R5年7月18日(火) 19:00~21:00	・経費・通帳の取り扱い ・中づくり修正	11名 町職員2
3	R5年9月21日(木) 19:00~21:00	・10月21日の詳細について ・会計について	9名、 町職員2
4	R5年11月2日(木) 19:00~21:00	・10月21日の反省	7名 町職員2
5	R6年2月8日(木) 19:00~21:00	・1月20日の反省 ・来年度の計画	9名 町職員1



里山散策



罫の見学



料理

事業名	照葉大吊橋森の驛運営事業(継続)	実施主体	てるはの森の会・
項目-行動計画 -実施項目	6-1-②	連携先	綾町
事業概要 (目的)	照葉大吊橋食堂跡地において、「てるは森の驛」(1F:無料休憩所、2F:木のおもちゃで遊べる木育体験コーナー、3F:飲食物を提供する軽食堂)を運営する。		

3F「てるは森の驛」は日曜、連休のみの開館となった

○3F: 飲食物を提供する軽食堂「てるは森の驛」 ○2F: 木育広場として活用



食堂のようす



木育広場

○1F:料金所より観光案内情報を充実させたいとの要望をもらったため、店舗空きスペースへパネルの移動を許可した。展示物が近くなり、見学の人が多くなっていると感想をいただいた。



事業名	綾町森林づくりビジョン策定(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-2-①	連携先	九州森林管理局 宮崎県
事業概要 (目的)	綾町の森林・林業が綾ユネスコエコパークの推進にふさわしいものとなるよう、綾森林整備計画と関連付けて策定を行う。		
<p>綾町森林業関係検討会（綾町, 宮崎中央森林組合, 中部農林振興局, 宮崎森林管理署）において従前のビジョン案を一新する方向で協議を進めてきたが、綾町森林整備計画が令和5年4月1日に更新されたため、内容の整合性や関連性を踏まえ、綾町内部でビジョン策定について再度検討を行った。</p>			

事業名	ユネスコエコパークとの連携（継続）	実施主体	綾町 九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾ユネスコエコパークエリア（緩衝地域）拡張に向けた調査の実施及び検討協議の推進。		
<p>令和5年度は道路工事等で現地調査を実施できていない。今後も各関係機関と調整しながら検討を進める。</p>			

事業名	綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然 と共生する地域づくり支援事業」	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	綾町 宮崎県
事業概要 (目的)	綾プロの保全管理計画との連携の中で、綾町の森林・林業の現状、問題、課題等について関係者による検討を重ね、その解決に向けて具体的な取り組みを協議する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度においては、大淀川森林計画区の編成時期ではないため、実施していない。 			

事業名	ユネスコエコパークとの連携(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	各機関
事業概要 (目的)	綾プロエリアが綾BRエリアの核心地域地域及び緩衝地域にあたることから、綾BRと連携することで綾プロの認知度を高め、活動を活性化を図る。		

■綾ユネスコエコパーク推進の根幹となる協議会等の運営

綾BR専門委員会を9月に開催し、各事業の進捗状況の報告、大学研究機関との連携事業の報告、ユネスコへの定期報告等について協議した。



〈 9/15 第14回 綾BR専門委員会 〉

■ネイチャーポジティブについての取り組み

東洋紡と綾町で包括連携協定を締結(6月)

社有林「東洋紡綾の森」がOECM(自然共生サイト)に認定(10月)

綾町公民館大会にて、県内初となるネイチャーポジティブ宣言を発表(R6年2月)

■綾ユネスコエコパークエリア内における生物多様性に関わる基礎調査の実施

宮崎大学及び京都府立大学と連携して綾北川・綾南川流域の森林及び移行地域で野生動植物調査を実施した。(カメ・小型哺乳類・植物・昆虫)

■綾ユネスコエコパーク年間活動

令和5年度活動実績 207日、240件 * ()内は綾プロ関連の件数

1. 視察・外部対応 66件
2. 主催イベント・講座等の開催 49件 (8件)
3. 他者主催イベント等への参加 3件
4. 取材対応 3件
5. 調査・作業 18件 (12件)
6. 会議・打ち合わせ等 101件 (27件)

事業名	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画-実施項目	6-3-①	連携先	綾町
事業概要(目的)	地域連携協議会、専門委員会へ出席し、国内外の情報を活用してよい方向に進むようアドバイスを行う。綾BR定期報告作成に向けた支援及び情報収集等を行う。		
<p>・綾町の定期報告作成に向けてアドバイスをを行った。</p> <p>論文</p> <p>・朱宮丈晴(2024)自然を基盤とした持続可能な社会構築のためのユネスコエコパークへ.Japan infoMAB.No47:1-2.</p> <p>報告書</p> <p>・令和5年度業務委託報告書綾生物多様性地域戦略実施計画支援業務、綾町、業務受託者：日本自然保護協会.</p> <p>講演</p> <p>・2023年7月24日JBRN大会in横浜</p> <p>・2023年11月7日「生物多様性に関するNGOの観点」、林野庁森林技術総合研修所主催</p> <p>・2024年2月16日「尾鷲市生物多様性の森づくり」in尾鷲、勉強会</p> <p>学会発表</p> <p>・2024年3月8日「日照条件からみたスギ・カラマツ人工林の伐採幅の検討」日本森林学会in東京農大</p> <p>・2024年3月20日「日本版ネーチャーポジティブアプローチをユネスコエコパークで展開する」日本生態学会 第27回公開講演会</p>			

事業名	生物多様性に配慮した施業の実施	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	7-1-①	連携先	—
事業概要 (目的)	生物多様性保存に配慮した森林整備を実施する。		
<p>・持続的林業経営エリア内で実施することとしているが、現地までのアクセス道路が自然災害により通行困難な状況であり、現在のところ復旧の見通しがたっていないため予定なし。</p>			

事業名	綾生物多様性地域戦略 実践支援事業(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-2-②	連携先	NACS-J
事業概要 (目的)	綾プロエリア内の林床植生調査や綾生物多様性地域戦略の内容を実際に行うこと、市民自ら調査を行うことでの復元の効果を実感すること。		
<p>〈令和5年度 業務委託報告書より抜粋〉</p> <p>■綾プロエリア内林床植生調査 目的：間伐の効果を図ること、調査の結果に基づいて間伐方法を検討すること、市民自ら調査を行うことでの復元の効果を実感すること。</p> <p>場所：国有林2094よ林小班内、29年生スギ人工林（東側に隣接して自然林が一部残存） 綾プロ復元ボランティア作業の一環で2006年10月に間伐を行った林分。</p> <p>参加者：令和5年11月25日 8名 （学生ボランティア6名、スタッフ2名（日本自然保護協会、てるはの森の会）） 令和6年2月21日 5名 （一般ボランティア2名、スタッフ3名（日本自然保護協会、てるはの森の会、綾町））</p> <p>11月25日に調査を行ったプロットNAK1202_13は防鹿柵内にあり、ニホンジカの採食の影響を受けないため、11年間で、常緑広葉樹の種数は変化なし、落葉広葉樹の種数は増加となった。しかし、間伐後の光環境の変化や防鹿柵によりニホンジカを排除しても、特定の種群のみが優占する林分が復元され、多様な種群からなる照葉樹自然林を復元するのは困難である可能性があることが分かった。</p> <p>■綾BR管理運営計画の更新 計画更新にあたり、GBFなどの最新の国際動向や国内動向を記載すること、繰り返しや計画に入れなくてもよいポイントなどを整理すること、章立てを同様の内容で分類してまとめること、図面を最新のものに差し替え整理することについて配慮し、見直し案を示した。</p> <p>■綾BRに関する情報収集 令和6年2月16日に尾鷲市（三重県）で行われた勉強会にて、尾鷲市における森林再生の取り組みに資する先進事例の一つとして綾町の生態系サービスを活用した様々な取り組みや施策（綾プロ、綾BR等）が紹介された。</p> <p>■情報収集 令和5年度に発表されたユネスコエコパークに関する情報として、5月にパリで開催された第35回ユネスコMAB計画国際調整理事会における決議文書の原文及び翻訳文、ポリシーブリーフ「生物多様性条約の2020年以降の生物多様性世界枠組みの実施におけるユネスコ生物圏保護区の役割」の原文及び翻訳文を情報共有した。</p>			

令和5年度綾の照葉樹林プロジェクト 社会的活動まとめ

①綾の森に関する視察・研修・観光・学習・森づくり等対応数

A：綾プロを主な目的として対応したもの

国 別 (件数)							
日本	アジア	中近東	オセアニア	欧州	アフリカ	北米	中南米
17							

B：綾ユネスコエコパークの一部として対応したもの

国 別 (件数)							
日本	アジア	中近東	オセアニア	欧州	アフリカ	北米	中南米
75							

②新聞・メディアでの露出数（キーワード「綾プロ」、「BR」、「照葉樹林の保護復元」）

媒 体 (件数)				
新聞	雑誌/書籍	テレビ	ラジオ	インターネット
11		1		

※新聞・雑誌/書籍は綾プロ報告書掲載分をカウント

③論文、寄稿、講演、表彰の数

媒 体 (件数)					
論文(※1)	論文(※2)	論文(※3)	寄稿(※4)	講演	表彰
1			3	2	

※論文・寄稿は綾プロ報告書掲載分をカウント

(※1) 綾プロ関係者が発行者または著作者であるもの（調査報告書、事業報告、冊子含む）

(※2) 綾プロ関係者以外が研究対象として綾プロの活動を取り上げ発行・著作したもの

(※3) 綾プロ関係者以外が研究対象として綾プロフィールドを取り上げ発行・著作したもの

(※4) 綾プロ関係者が他機関が発行・編集するものに依頼を受けて綾プロに関連することを執筆したもの

④各者の年間支出（てるは人件費・事業費の合計、その他4者は事業費のみ）

（単位 千円）四捨五入

九州森林管理局	宮崎県	綾町	日本自然保護協会	てるはの森の会
4,621	1,415	1,640	800	1,778

令和5年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧

タイトル	発行者	発行年	事務局 / 執筆者	雑誌名	種類	HP上での公開/非公開	公開しているHP名
特集 照葉樹林 ～失われゆく日本の原風景～ 綾の照葉樹林 森林と結びつく人々の暮らしと文化	国立科学博物館	2023	河野円樹	日経研 月報 2023年4-5月号	情報誌	一部公開	国立科学博物館
令和5年度 業務委託報告書 綾生物多様性地域戦略実施計画支援業務 綾町、業務受託者：日本自然保護協会	綾町	2024	(公財) 日本自然保護協会	—	報告書	非公開	—
日本MAB計画支援委員会活動報告(2023. 4～2024. 3)	日本MAB計画支援委員会	2024	朱宮丈晴	Japan Info MAB News Letter on MAB Activities in Japan No. 47	寄稿	非公開	—
日本のBRにおけるユースの参画に向けて	日本MAB計画支援委員会	2024	小林海瑠	Japan Info MAB News Letter on MAB Activities in Japan No. 47	寄稿	非公開	—
照葉樹林だより第65号～67号	(一社) てるはの森の会	2023～2024	(一社) てるはの森の会	—	会報	公開	てるはの森の会

令和5年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連新聞記事

掲載日	新聞社名	掲載内容
2023. 4. 9	宮崎日日新聞	追想メモリアル 古里への深い愛情を注ぐ 前綾町長 前田 穰さん
2023. 6. 8	宮崎日日新聞	みやざきSDGs 社有林活用し環境保全 綾町と東洋紡 連携協定
2023. 9. 22	宮崎日日新聞	綾照葉樹林 守り続ける ドングリ苗木育てて森へ
2023. 9. 27	宮崎日日新聞	綾ユネスコエコパーク継続 報告書審査1年遅れ
2023. 10. 20	宮崎日日新聞	綾エコパークの自然体感 林道散策や植物観察
2023. 11. 11	宮崎日日新聞	霧島、綾パーク知ろう 地質や植生 歩いて観察
2023. 11. 19	宮崎日日新聞	ニホンカモシカの現状 絵本に
2024. 1. 23	宮崎日日新聞	綾の里山散策 魅力体感 おとなの山学校 わな見学で驚き
2024. 2. 17	宮崎日日新聞	生物多様性の保全推進 県内初 綾町がネイチャーポジティブ宣言
2024. 2. 26	宮崎日日新聞	みやざきSDGs 綾の歴史遺産、観光活 用へトロッコ道 再生向け整備
2024. 3. 3	宮崎日日新聞	色の記憶 1968(昭和43)年 トロッコ列車 住民支えた交通手段



発行：令和6年8月

発行者：綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画 連携会議

編集：九州森林管理局

お問い合わせ先：九州森林管理局 計画課

〒860-0081 熊本県熊本市西区京町本丁 2-7

TEL:096-328-3612

ホームページ：<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/index.html>